

# 村政を問う

## 一般質問に4人登壇

### 一般質問とは

定例議会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり村当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴し事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

#### 波多野宏美 議員

P10

- 1 独自の「子育て・教育環境」は
- 2 人口減少対策は
- 3 農業振興は
- 4 総合グラウンドの整備は
- 5 意識改革は

#### 川田 敏彦 議員

P12

- 1 J Aとの連携強化と大消費地対策は
- 2 高校生までの医療費の無料化は
- 3 北部第一学童保育所の開所は

#### 村上 慎一 議員

P11

- 1 通学路等における安全確認は
- 2 廃棄物発生量の削減目標等
- 3 役場職員の意識改革は
- 4 補助金返還に対する説明は

#### 南 千晴 議員

P13

- 1 本気で待機児童対策を
- 2 子育て世代包括支援センターに臨床心理士を
- 3 災害時の赤ちゃんとママのために

紙面の都合により、質問の内容を要約してあります。  
会議録の詳細は、[榛東村議会のホームページ](#)に掲載します。

[榛東村議会](#) クリック



6月11日 開会初日







かわだとしひこ  
川田敏彦 議員

## Q 地場産農産物首都圏へのPRは

## A 葛飾区産業観光部と連絡調整

### J Aとの連携強化と大消費地対策は

**問** 第6次総合計画では、「村の基幹産業は農業」と位置づけられています。現状は、産業振興課の資料によりますと、2010年と2015年の5年間に総農家数は678戸から613戸、9割に減少。販売農家数も88戸から70戸、兼業農家数262戸から210戸と8割を切りました。耕作放棄地は1・6倍に増えています。今後の農政をどう考えていますか。

**答** 村長 農業をとりまく状況は難しいのが現状です。昭和村の朝採りレタス、孀恋のキャベツのように特化できるものがないければ、PRもでき、耕作放棄地も減りません。いろいろな面で包括的に考えていきます。

**問** 第6次総合計画ではJ Aとの連携強化が強調されています。現状はどうですか。産業振興課長

**答** J Aとは農振協議会、様々な協議会に農協理事、支所長、組



基幹産業と位置づけられている農業の振興を

合長に委員になってもらっています。J Aの情報、村が持っている情報を共有しあって、農業施策を一生懸命考えています。

**問** 村は、四十数万人の人口を持つ東京都葛飾区と農業振興、観光振興について協定を結んでいます。葛飾区の企画部担当者が「村から積極的にPRしてもらえば、区は応える用意がある」と言っていると聞きました。協定の進捗状況はどうですか。

**答** 産業振興課長 現在、葛飾区産業観光部と随時連絡調整をしています。市の市民農園活用を葛飾区のホームページに載せてもらうなど、現在調整しています。

**問** 4月の村長選で、医療費無料化を高校生までに広げるといふ真塩村長の公約が出されました。子育て支援、人口減対策など積極的・有効な施策です。いつから無料化になりますか。

**答** 村長 現在、システム改修、医師会、国保連合会との調整など職員が検討を行っています。令和2年から実施するという強い決意でやっています。

**問** 入院・外来についてはどうですか。村長 担当課に入院・外来を含めて検討するよう話しています。

### 高校生までの医療費の無料化は

**問** 社会福祉協議会と結んだ管理協定書では、北部第一学童保育所を含め、5カ所の学童保育所開設を協定しました。現在、北部第一学童保育所が開所せず、4カ所と

**答** 村長 開所にあたって指導員を募集しましたが、指導員が足りていません。解決すべく進めたいと思います。

### 北部第一学童保育所の開所は

**答** 村長 十八歳の高校生卒業までの十八歳を超える生徒もいます。検討はどうですか。



みなみ 南 ち 晴 議員

# Q 待機児童の解消を早急に

# A 保護者の要望に配慮し個別に対応

## 本気で待機児童対策を

**問** 現在、待機児童はどのくらいいますか。

**答** 住民生活課長 現在23人います。

他にも入所を希望し、定員超過で求職活動を休止している方や育児を延長している方が15人います。合わせて入所保留は38人です。

**問** どのような基準で入所決定をしますか。

**答** 住民生活課長 昨年4月の入所の児童から点数制で決

めています。保護者の就労や介護等の拘束時間を基本点とし、家族構成や兄弟入所等は加

点して優先順位を決めています。毎月開催して

いる園長会議で、入所希望する2か月前の児童の選考をしています。

**問** 現状では3園とも定員超過で、これ以上の入所は難しい状況のようです。今年度予定されている南部保育園の増築が完成した場合には何人入れますか。

**答** 住民生活課長 0〜2歳児の低年齢児15人の予定です。

**問** これだけでは足りません。早急な対応と今後の保育ニーズ等を把握し、中期で考えていく必要があるのではないですか。

**答** 村長 この状況を看過することはできません。南部の増築も県に働きかけ、3



待機児童をゼロに

**問** 来年度末までに設置に努めなければならぬ「子育て世代包括支援センター」の計画はどうなっていますか。

**答** 健康保険課長 来年度初めから設置できるように考えていきます。場所は保健相談センター内の予定です。

## 子育て世代包括支援センターに臨床心理士を

**問** 相談体制を充実するために臨床心理士を配置してもらえないですか。

**答** 村長、心のケアに対応する支援も含めて、採用や職員配置をしたいと考えています。

## 災害時の赤ちゃんママのために

**問** 液体ミルクや食物アレルギー対応も含む離乳食などの乳幼児用の備蓄はありますか。

**答** 総務課長 乳児に特化した食料の備蓄はありません。液体ミルクは本年度中に調達する予定です。離乳食も調査しながら調達を検討します。

**問** 液体ミルクの使用を含め、災害

時の乳幼児栄養に関しては国際的なガイドラインがあります。それに準拠した支援体制づくりを防災計画にも盛り込んでもらえないですか。

**答** 総務課長 乳幼児は要配慮者です。乳幼児の栄養対策は防災計画にないの

で、必要な見直しを行いたいです。